

個 別 事 業 計 画 書

所管部署：市民福祉部 社会福祉課

(単位:千円)

事業名	地域福祉事業	細事業名	新継区分	継続事業		
総合振興計画の位置づけ	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	根拠法令等	社会福祉法			
	4 医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する					
	(8)安心と支え合いの仕組みづくり					
事業計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 26 年度	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	市街化が進む地域では、近隣の住民同士の繋がりが希薄になる傾向にあり、普段からの見守りや声かけをはじめ、人間関係づくりやその拠点づくりが必要である。一方、高齢化が進む山間過疎地域では、人間関係は比較的親密ではあるものの、高齢化過疎化ゆえに住民同士の助け合いの必要性が高い。	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成23年度 予算現額		11,055	
			平成24年度	各サロン活動への支援 小地域ネットワーク活動の推進 ボランティア活動の支援 各種団体、サークルへの支援 民生委員の見守り活動の一環とした弁当配布	住民自らによる小地域ネットワーク活動やふれあいサロン活動を通じて、地域の繋がり、ボランティアの育成などといった、住民自らが福祉課題を克服する仕組みづくりや組織づくりに期待が出来る。また、民生委員の高齢者宅への弁当配付により、安否確認を行い、相談支援の充実を図る。	11,055
			平成25年度	各サロン活動への支援 小地域ネットワーク活動の推進 ボランティア活動の支援 各種団体、サークルへの支援 民生委員の見守り活動の一環とした弁当配布	住民自らによる小地域ネットワーク活動やふれあいサロン活動を通じて、地域の繋がり、ボランティアの育成などといった、住民自らが福祉課題を克服する仕組みづくりや組織づくりに期待が出来る。また、民生委員の高齢者宅への弁当配付により、安否確認を行い、相談支援の充実を図る。	11,000
			平成26年度	各サロン活動への支援 小地域ネットワーク活動の推進 ボランティア活動の支援 各種団体、サークルへの支援 民生委員の見守り活動の一環とした弁当配布	住民自らによる小地域ネットワーク活動やふれあいサロン活動を通じて、地域の繋がり、ボランティアの育成などといった、住民自らが福祉課題を克服する仕組みづくりや組織づくりに期待が出来る。また、民生委員の高齢者宅への弁当配付により、安否確認を行い、相談支援の充実を図る。	11,000
具体的な実施内容	社会福祉協議会が実施する小地域での見守りを中心としたネットワーク活動やふれあいサロン活動の支援、各種団体・サークルへの支援、ボランティア活動の振興等の事業に対して支援する。 また、民生委員が必要と認めるひとり暮らし高齢者世帯へ、民生委員が月に一度「ふれあい弁当」を届ける。					
事業の目的	地域福祉の仕組みを構築し、地域福祉の推進を図る。					
事業の効果	住民自らによる小地域ネットワーク活動やふれあいサロン活動を通じて、地域の繋がり、ボランティアの育成などといった、住民自らが福祉課題を克服する仕組みづくりや組織づくりに期待が出来る。 また、民生委員の高齢者宅への弁当配付により、安否確認を行い、相談支援の充実を図る。					